

令和 8 年度第 1 回コミュニティ・スクール委員会

(清水・御影 CS 委員会合同開催)

会 議 録

1 出席委員等

清水 CS 委員会~中島委員、佐々木委員、中村委員、梶委員、勝田委員、西田委員、
嘉藤委員、寺岡委員 欠席~長尾委員、上ノ山委員、林委員、堀委員

御影 CS 委員会~細田委員、口田委員、澤山委員、野々村委員、吉田委員、久野委
員、上谷委員、大石委員、澤山委員、小副川委員、宗形委員、金山委員

【教育委員会】山下教育長

【事務局】本田学校教育課長、寺岡社会教育課課長、渋谷社会教育課参事、太田
同課参事、山川教育指導幹、大山教頭、村尾教頭、匂坂副園長、伊藤
教頭、石坂教頭、尾見教諭、筒井教諭、上出 CS コーディネーター

2 場 所 清水町文化センター大集会室

3 日 時 令和 8 年 4 月 23 日 (木) 19 時 20 分

しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議に引き続き開会

4 傍聴人数 なし

5 会議内容

学校運営協議会(CS委員会)委員の任命

教育長より各 CS 委員会代表として、清水 CS 委員長欠席につき吉田御影 CS 委員長
に交付し、その後、学校教育課職員より各委員に手交する

委員長及び副委員長の決定

委員会会則により本年度は両中学校 PTA 会長に委員長として決定

副委員長は委員長指名によることから、後日事務局へ報告を受けることを全体で了承
説明・協議事項

合同会議につき CS コーディネーターが議事進行

(1)コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について(事務局説明)

学校教育課長より学校運営協議会制度について説明

(2)各学校等の経営方針について(各学校等から説明)

第 1 回しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議における説明をもって CS 委員会説明とする。

清水・御影のこども園長および小中学校長から本年度経営方針を『教育のデザイン「企画編」』を用い説明あり。

第 1 回しみず「教育の四季」地域学校協働本部会議において全体の承認を得たので委員会としても承認されたこととする。

(3) 熟議

大集会室にて、清水 CS 委員会は 2 分散会、御影は 2 分散会で討議し、すべての班から発表を行う。

熟議・しみず「教育の四季」取組の今年度の重点について

しみず「教育の四季」12 の窓のシートを参照し、社会全体で子供たちを育むための家庭・学校・地域が年間を通し特に重点として取り組むべき事項について討議する。

清水 A 班

まず家庭として親子でコミュニケーションをとることが重要ではないか。スマホの普及から親子の会話もラインやメールで行う昨今だが、やはり親子での今でしかできない家庭のだんらんを大切に、親からだけでなく子どもからの情報を伝えることなどが情報共有となる。意見交換の中で、例えば親子でのカラオケ大会をやってはどうかとの意見あり。大きな声を出し合うことも時として必要ではないか。

清水 B 班

ふれあいをテーマに意見交換した。やはり「あいさつ」は重要だが、比較的できている。また、十勝清水学も先生方の指導が届いている。地域では道であったら声をかけることは増えてきている。防犯入選作で「知らない人から声をかけられたら知らないふりをしよう」とのことだが、あいさつは見守りの機能もある。地域の見守り当番の時には高校生も挨拶してくれる。結果としてよい町だと思う。

御影 A 班

ふれあいをテーマのスタートとした。AI といかにうまく付き合うか。スピードが速く、大人が覚えるより子どもが早い。学校としても外部から指導してもらうことでも良いが、親と子が一緒に学ぶ機会が必要ではないか。今の子どもは顔を見なくてもつながっていれば十分との話があった。恋愛相談も最終的に違う方向に行ってしまうことがあり、フェイクニュースが多い。子どもに教えられる家庭であることが必要ではないか。

御影 B 班

家庭ではタブレットやスマホ取り扱いについて教えていくことが必要ではないか。食事をしながらの子どもとの会話を大切にし、大人と子どもがいっしょに学ぶ空間としての家庭を大切にすることが大事だ。

学校の取組として出された意見としては、御影には図書館がないため「清水」に関わる本があると良い。また、学校と地域が連携し色々な業種とのかかわりや交流を増やすことが良い。

地域での取組みとしては、正しいことと間違っていることを素直に注意が出る大人になりたいとの意見が出されていた。

出された意見は、今後、事務局において検討のうえ一本化し全町的な取組みとしていくことの下承を得る。

(4)その他

特になし

山川教育指導幹の閉会あいさつにより終了。

(20時11分)